



No.73

ボランティアセンター だより

第142号
2026年2月22日

西宮市北六甲台地区
社会福祉協議会
会長 日高 昭夫

福祉だより
ぬくもり

●発行/北六甲台地区社協●発行/年4回●編集/北六甲台地区社協広報研修部●配布エリア/北六甲台・上山口2,3,4丁目

地域密着の独自性

二十一年目の二〇一七年には「社協北六甲台地区」が「北六甲台地区社協」として地域に密着した独自性が求められました。

「三十年誌(後編)」は設立二十一年目から三十年迄の十年間の記録です。ちょうど私の会長在任期間と重なります。振り返れば「波瀾に満ちた十年」だったという感慨がひとしおです。

会長就任十年の感慨

社協設立三十年が経過し「三シタル版」を発行します。発行済み二十二年誌も「三シタル」として統一版として出版しました。

「三十年誌(後編)」は設立二十一年目から三十年迄の十年間の記録です。ちょうど私の会長在任期間と重なります。振り返れば「波瀾に満ちた十年」だったという感慨がひとしおです。



波瀾に満ちた十年の歩み

年頭所感

会長 日高昭夫

また二〇一九年四月以降、自治会をはじめ地域組織との連携による地域交流拠点づくりに着手しました。最終的に地域の合意に至らず四年をかけた取り組みは頓挫しました。この取り組みの反省から、自治会等の地縁組織への依存を軌道修正し、地区

交流拠点の頓挫と自主活動

また二〇一九年四月以降、自治会をはじめ地域組織との連携による地域交流拠点づくりに着手しました。最終的に地域の合意に至らず四年をかけた取り組みは頓挫しました。この取り組みの反省から、自治会等の地縁組織への依存を軌道修正し、地区

コロナ禍のセイフティ機能

ところが二〇一九年末から未曾有の災害・コロナ禍が発生し、活動自粛や感染対策に追われ、社協のセイフティネット機能の維持に努め、対面總會開催、ボランティア維持、独居高齢者の見守り電話訪問等の活動を独自に展開しました。

アセンタールのフェスタに合わせた自主的活動が活発に実施されました。事業部合同の一体的イベント



ぬくもりフェスタの定着

そうした流れの集大成が二〇二三年の「ぬくもりフェスタ」開催です。各事業部とボランティア



節目を迎える今期総会

今年四月に設立三十年の節目の総会を迎えます。過去三十年の北六甲台地区社協の歩みを噛み締めながら、あらためて今後の在り方について議論できる総会でありたいと思います。

広報活動とイメージ強化

広報紙の年六回の全戸配布やホームページ、スライドショーの立上げ等の広報活動はどの地区にもひけをとらない充実ぶりです。

開催の相乗効果が発揮されました。過去三回の開催を通じて地区社協の「多世代交流イベント」として定着しています。

カーボランティアさん、施設ボランティアさん募集しています！

移送ボランティア(カーボラン)
高齢で歩行困難、身体障がい
その他の理由で病院、買い物
などへ手段のない方のお手伝い。



施設ボランティア
デイサービスの方のお風呂上りの髪を乾かしながらのお話しのできる方、
月～金曜日10時～12時の中で選択
自由です。詳細ボラセンへ。



利用できるボランティアサービス

地域で暮らしていく事がひとりでは難しいが、少し手助けすれば暮らしていける方への援助

- カーボランティア(車での移送サービス)
 - ⇒通院、買い物、公共施設・金融機関などへの送迎
- 電話訪問(定期)
 - ⇒独居高齢者などへ電話をかけて、お話し相手や安否確認
- よりそいサポート
 - ⇒高齢者、障がい者などの困りごとに個別に対応
 - 例：草引き、買い物支援、子育て支援など(内容や時間によって一部有償の支援あり)
- 安心キットの受付(市社協が配布する全国的な事業)
 - ⇒緊急時の備えとして、医療情報などを入れて設置しておく黄色の容器の申込受付

その他のボランティア活動

- 施設ボランティア
 - ⇒高齢者福祉施設などへ定期的に訪問・お手伝い
- 地区社協の事業に参加
 - ⇒ふれあい喫茶、障がい者つどい場、子育て広場など
- 地域の活動
 - ⇒さくらまつり、小学校の福祉学習のサポートなど

あなたの地域の **ボランティアセンター ぬくもり**

活動地域は上山口2, 3, 4丁目と北六甲台です

電話・FAX: 078-904-4576

相談日: 毎週 火曜日・木曜日(祝日休館)

時間: 午前 9時00分~12時00分

場所: 北六甲台地区ボランティアセンター(安心プラザ2階)
西宮市北六甲台3丁目31番地1号

地域の相談窓口です!



お手伝いされたボランティアの皆さん

アプリの登録案内も実施。訪れた方は説明を聞きながら、案内に従って登録されていました。今回は、連休の中ということもあり、前回より来場者が少なかったのですが、盛況のうちに終わりました。今後も、地域の皆様が安心して過ごせる町づくりに務めて参ります。
(広報研修部 久慈)

能登半島地震災害支援

つどい場ばんぶーブース

スマホ相談会

My自治会登録案内



社協の地域交流広場にも多くの人が来場し、コーヒーパーティー文化祭ならではの老若男女の交流ができました。西宮いずみ会山口グループは、本物の野菜で一日の野菜の摂取量を確認するコーナーを実施しており、日頃の野菜不足を反



十一月二日〜三日、自治会館とコミセンで文化祭が開催されました。少々肌寒く感じる時間帯もありましたが、秋晴れの良いお天気の中、文化祭は例年と同じく作品展示とパフォーマンス、参加型のアクティビティーなど様々なイベントが来場者を楽しませてくれました。

北六甲台文化祭の多彩なイベント



省させられました。

両日ともキッチンカーが自治会館駐車場で開催。受付でもらった金券を使って色々な食べ物も楽しめました。また、協賛企業による輪投げゲーム等も楽しめ、全員参加型の文化祭になりました。
(広報研修部 神田)

児童と障がい者の交流会

一月二十八日(水)北六甲小学校四年生を対象とした福祉学習で、車椅子とアイマスク体験が行われました。市社協、地区社協ボランティア二名と保護者の方が見守り活動に参加されました。体験学習の後、今回初めて障がい者支援施設・青葉園はびこの五人の本



交流会



車イス体験



アイマスク体験

人さんとの交流会がありました。児童からの相次ぐ質問に車イス当事者の気持ちを紹介者から丁寧に答えてもらいました。児童には貴重な交流になりました。
(広報研修部 小出)



イベント当日、プчы屋の担当者は、十一時の開店に間に合うように大忙し。それぞれの分担に分かれて、声を掛け合いながらテキパキと準備を

万全の準備で開店

十一月二十三日の勤労感謝の日に、北六甲台コミュニティセンターで「第三回ぬくもりフェスタ(社協感謝祭)」を開催しました。「社協の活動紹介」「多世代交流」「地域の皆さんへの感謝」を趣旨とした「多世代交流イベント」です。



「コミセンA室の『ふれあい喫茶』では、コーヒィを飲みながら、

地域住民の憩いの場

整えていきます。屋外の屋台ということもあって、犬の散歩で通りかかった住民が立ち寄り場面も。「室内で、コーヒィなどの飲み物もご用意していますよ」との声掛けに、買ったものをそのまま屋台前の椅子に座り食べると、早々に室内へ入って行きました。



恒例となっている日野さんの『けん玉教室』では、けん玉の華麗な技の披露の後のけん玉を体験するコーナーが人気。丁

けん玉初体験

「昨年も来場した」と好評で「子どもさんと話す方も。子どもさんが遊んでいる中、お母さん同士の子育ての情報交換に花が咲いていました。



バザーや活動紹介も

二階のB室では、バザーが行われ、寄付された日用品のほか、スタッフ手作りのバッグやブローチなどの販売もあり、訪れた方からは「素敵」「かわいい」と好評でした。壁面に掲示された活動紹介パネルを見て、「こんな活動をされているん

寧に指導してくださる日野さんに、老若男女問わず、やってみようという人が続きます。今回、けん玉が初めてという小学生の男の子は日野さんにコツを教えてもらい、熱心に取り組み姿が見られました。

「兵庫ブレイバース」の選手によるストラックアウトは、昨年は突然の雨に見舞われ途中で中止になったこともあり今年には室内で開催。若い選手から、投げるコツを教わった小学生は見事的にボールを当て、選手から拍手が送られていました。



野球選手の応援

です」とお話される方もいらっしゃいました。